

# 美しい 県土づくりNEWS



2010年  
6月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌 71号  
平成 22年 6月 18日発行  
編集 県土整備企画室



## 目次

- 2 一般国道 342 号須川～真湯間が待望の開通
- 4 みんなで防ごう土砂災害
- 6 胆沢ダムの堤体盛り立てが完了
- 7 一般国道 455 号北山バイパスの整備により渋滞が緩和
- 8 二戸市浄法寺浄化センターが通水開始
- 9 綱取ダムで「春の一斉清掃」を実施
- 10 「住まいのリフォームフェア」を開催
- 11 県内各地で農業集落排水処理場が供用開始
- 12 築川ダム 川の生きもの調査 & 付替え道路見学会のお知らせ
- 13 第 18 回森と湖に親しむ子どもまつりのお知らせ
- 14 明日を担う若手職員を紹介します(宮古土木センター 田村技師)

## 一般国道 342 号 須川～真湯間が待望の開通！！ ～ 地域をつなぎ笑顔の往来再開 ～

平成 20 年 6 月 14 日に発生した「岩手・宮城内陸地震」による被災で全面通行止めとなっていた一般国道 342 号須川～真湯間約 15km が、平成 22 年 5 月 30 日(日)正午に開通しました。

当日は、快晴に恵まれ、テープカットや『復興之碑』の除幕などの式典を行い、開通を祝いました。また、山頂の須川ゲート付近では、岩手・秋田両県知事による握手・万歳三唱や、国道 342 号にちなんだ 3,420 個の餅まきなどの開通イベントが盛大に行われ、開通を心待ちにしていた地元住民や多くの観光客などで賑わいました。



# 一般国道 342 号須川～真湯間が待望の開通!!

～ 地域の強い思いで被災から2年を経ずに開通 ～

砂防災害課

県南広域振興局土木部 一関土木センター

岩手県内陸南部を震源とするマグニチュードが7.2で県内観測史上最大の震度6強を記録し、甚大な被害をもたらした「平成20年岩手・宮城内陸地震」から約2年が経過しました。

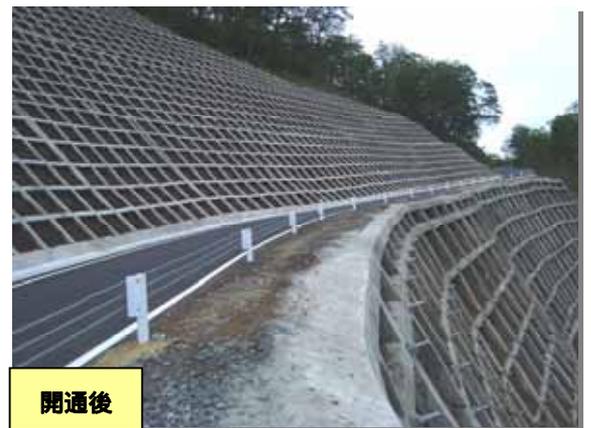
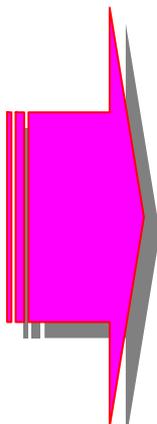
地震により、大規模な土砂崩落などの被害を受け、全面通行止めとなっていた一関市厳美町の一般国道342号須川～真湯間約15kmは、復旧工事が概成し、平成22年5月30日正午に開通しました。

## 1. 復旧概要

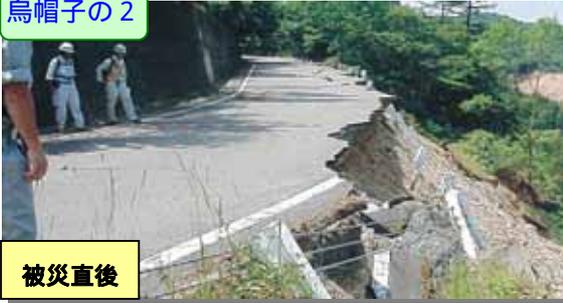
今回開通した須川～真湯間は、地震による被災で、道路が消失するほどの大規模斜面崩壊が4ヶ所発生したほか、路面の地割れや隆起などが多数発生し、被災直後から全面通行止めとなっていました。本区間は、栗駒国立公園内に位置し、秋の紅葉シーズンには、県内有数の観光スポットとして多くの観光客が訪れるほか、春の新緑、夏の登山、温泉など本県を代表する行楽地の道路として、一日も早い復旧が望まれていました。

本格的な復旧工事は、平成21年3月に始めましたが、本区間は、積雪が多いため、冬期間は工事ができないという時間的制約や、急峻な地形と道路幅員が狭いことによる作業スペースの制約などがあり、当初、開通まで3年はかかると見込んでいましたが、工期短縮に向けた工事施工者の取り組みなどもあり、地震から2年を経ずに開通することができました。

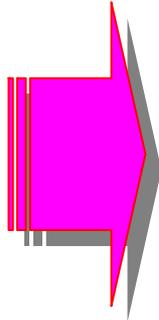
また、災害復旧工事に併せて、車両同士のすれ違いが困難な箇所解消等を図るため、拡幅や待避所の設置等による「1.5車線道路整備」も実施し、震災前よりも安全性・快適性に優れた道路になるよう整備しました。



烏帽子の2



被災直後



開通後

## 2. 開通イベント

今回の開通を契機として、災害からの復旧・復興を広く県内外に伝え、多くのお客様に訪れていただくため、岩手・秋田両県と一関市が連携し、開通前日から当日にかけて、様々なイベントを開催しました。

開通前日は、2倍以上の一般応募者から抽選で選ばれた342名による須川～真湯間のウォーキングや、12チーム60名によるリレーマラソンが行われ、新緑に包まれたコースを歩きながら復旧状況を目の当たりにし、参加者からは驚きの声が上がっていました。

開通式当日は、快晴に恵まれ、真湯ゲート前でテープカット・くす玉開披などの開通式典や、開通の記念碑『復興之碑』の除幕などを行い、開通を盛大に祝いました。開通の記念碑『復興之碑』は、達増知事が揮毫し、地震による水枯れのために烏帽子地区から一つ石地区に移設した湧水施設「ぶなの恵」の一角に設置しました。

山頂の須川ゲート付近では、岩手・秋田両県知事、一関市・東成瀬村両首長などによる握手・万歳三唱や、国道342号にちなんだ3,420個の餅まきなどの開通イベントが盛大に行われ、開通を心待ちにしていた多くの観光客で賑わいました。



『復興之碑』除幕式



岩手・秋田両県知事による餅まき

また、岩手県では、地震の記憶を身近にとどめてもらおうと、岩手・宮城内陸地震で崩落した祭時大橋の桁材から作成した記念プレートを先着500名にプレゼントしました。プレートは、鉄鋼材の橋桁を長さ約25cm、幅約5cm、厚さ約9mm(重さ約900g)に加工したもので、さびや傷はあえて磨かずに、一関土木センター職員が油を落とし、ワックスを塗って仕上げました。



祭時大橋の桁材で作成した記念プレート

## 3. 最後に・・・

今回開通した須川～真湯間は、一部は片側交互通行となっていますので、今後とも早期完成に向けて整備を進めていきます。また、崩落した祭時大橋の架け替え工事についても、平成22年度中の完成に向けて整備を進めていますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

須川温泉では、開通から約2週間たった現在も、駐車場は平日でもほぼ満車状態となっており、大規模な被災から復興した本地域への人々の期待や関心の高さがうかがわれます。

今回の開通を契機として、被災以前にも増して地域の観光や経済が活力に満ち、交流が一層促進されることを期待しています。

皆さま、是非、復興した本地域にお越しください！



須川温泉で足湯を楽しむ観光客



# みんなで防ごう土砂災害!

～ 6月は土砂災害防止月間です ～

砂 防 災 害 課

近年、台風や梅雨前線豪雨、地震などにより全国各地で土砂災害が多発しています。

昨年は、7月に九州北部・中国地方を中心に発生した豪雨によるものなど、全国各地で1,058件の土砂災害が発生し、22名の尊い人命が失われました。

今後も、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、台風の勢力が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

国土交通省では、土砂災害が発生しやすくなる梅雨時に啓発活動を実施し、土砂災害の防止と被害の軽減を図る目的で、6月を『土砂災害防止月間』としています。

平成22年度は、土砂災害に関する防災意識の普及、警戒避難体制の整備等を推進するため、住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携しながら、一人ひとりの防災意識を高める取組や土砂災害を防ぐための、様々な取組を実施することとしており、本県でも、市町村などの関係機関・砂防ボランティア岩手県協会と連携して、土砂災害危険箇所の点検等を行うこととしています。

## 土砂災害にはこんな前兆現象があります!

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。



地すべり



土石流



がけ崩れ





# 胆沢ダムの堤体盛り立てが完了！！

～ 国内最大級ロックフィルダムの平成 25 年度完成に向けて着実に工事が進捗 ～

河川課

国が奥州市胆沢区で整備を進めている胆沢ダムの本体堤体盛り立て工事が完了し、平成 22 年 5 月 27 日に完了式が行われました。堤体の盛り立ては、平成 17 年 10 月 29 日から開始し、約 4 年 7 ヶ月の歳月をかけて完了したものです。

今後は、堤体の天端（完成後に人が歩ける堤頂部分）の舗装工事や管理用の設備工事、洪水吐コンクリート打設工事などが行われる予定とのことで、平成 25 年度の完成に向けて、着実に工事が進められています。また、国道 397 号の付替道路工事では、これまで 4.0km を供用済みでしたが、今年度、ダム上流部の残る 3.3km を供用し、全線供用するとのことです。

## 胆沢ダム事業概要

- ・ 目的 洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、かんがい、発電
- ・ 諸元 高さ 132m、堤頂長 723m、堤体積 1,350 万 m<sup>3</sup>、総貯水量 14,300 万 m<sup>3</sup>
- ・ 工期 昭和 58 年度 ～ 平成 25 年度
- ・ 事業費 2,440 億円

完了式の様子



最後の盛り立て



胆沢ダムの全景



盛り立て状況



胆沢ダム工事事務所の HP はこちら

<http://www.thr.mlit.go.jp/isawa/>

# 一般国道 455 号北山バイパスの整備により渋滞が緩和!!

盛岡広域振興局土木部

一般国道 455 号は、盛岡市と三陸沿岸北部地域を連絡する広域的な幹線道路であるとともに、市街地と盛岡市北東部地域とを連絡する盛岡都市圏の放射状幹線道路です。

本路線では、盛岡市の北山地区において、現道の交通混雑の解消、バス交通の定時性の確保、宅地開発に伴い発生する交通需要への対応などを目的として、昭和 59 年度にバイパス整備に着手し、昨年の 10 月に、北山トンネルを含めて全線供用したところです。

北山バイパスの整備効果については、「国道 455 号北山バイパス整備効果検証委員会」を設置し検討していますが、この度、バイパスの供用開始前後における交通状況についてとりまとめましたので、お知らせします。

## 北山バイパスの整備効果の概要

国道455号現道の混雑が緩和されました。

- ・国道455号現道の交通量が約39%減少(平日)

国道455号現道の渋滞長が減少しました。

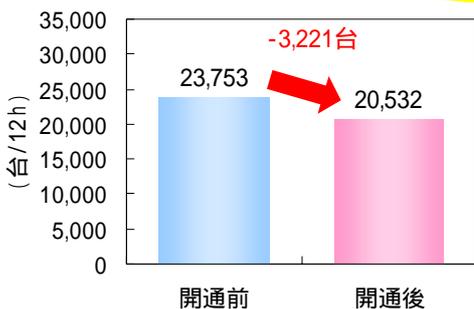
- (参考) 国道455号現道(国道4号高架下)での渋滞長
- ・平日朝のピーク (7~9時) 750m減少
  - ・平日夕方のピーク (17~19時) 450m減少

市内中心部へのアクセスが改善されました。

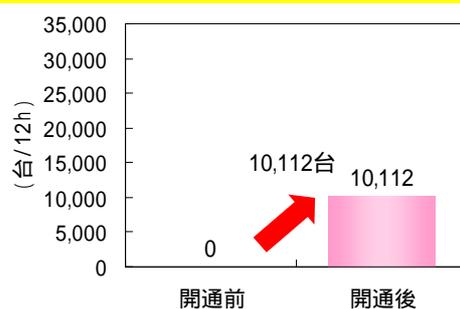
- (参考) 県営野球場前~盛岡駅区間の所要時間
- ・北山バイパス経由では所要時間は13分
  - ・国道455号現道では4分短縮



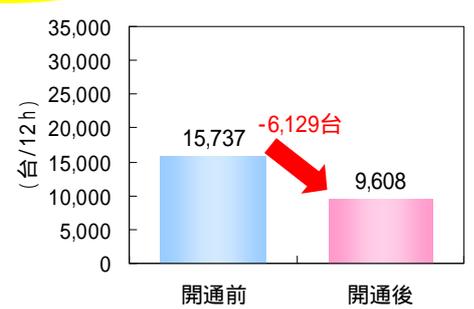
盛岡市北東部地域 盛岡市街地の交通の流れがピンク矢印のルートで多くなっています。



上田深沢線



北山バイパス



国道455号現道  
(三ツ割側)

# 二戸市浄法寺浄化センターが通水開始！！

～ 汚水処理未普及地域が解消しました ～

下水環境課

県が二戸市浄法寺町で整備を進めていた「浄法寺浄化センター」が完成し、5月27日に通水式を行いました。

二戸市浄法寺地区は、これまで浄化槽による個別処理を進めてきましたが、住宅密集地域があり浄化槽設置が困難な世帯が多かったため、下水道による集合処理を望む声が高まっていました。

そこで、二戸市では、国土交通省の「下水道未普及解消クイックプロジェクト」のモデル都市として採択を受け、「低コストによる早期整備」を目標に、平成19年度から下水道の整備を進め、県は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく「県代行事業」として、幹線管渠と「浄法寺浄化センター」の工事を実施しました。

「浄法寺浄化センター」は、国内初の「パッケージ型膜分離活性汚泥法(PMBR)」を採用しました。「膜分離活性汚泥法(MBR)は、「透視度が高く、大腸菌類のない清澄な処理水」、「汚泥性状によらず固液分離ができ、維持管理が容易」などの特徴がありますが、今回採用したPMBRでは、設計・仕様を規格化して計測制御設備等を必要最小限とし、建屋も鉄骨構造とすることで、MBRの特徴に加えて、低コスト化も実現しました。併せて、機械・電気設備、土木・建築工事を一括して発注することで、早期供用を実現しました。

浄法寺浄化センターへの導入を契機として、PMBRが汚水処理の未普及地域解消に大きな役割を果たすことを期待しています。

PMBR：Package Membrane Bioreactorの略称

事業概要	
名称	浄法寺浄化センター
所在地	二戸市浄法寺向田地内
工期	平成21年5月～平成22年3月
供用開始	平成22年3月31日
処理方法	膜分離活性汚泥法
処理能力	300m <sup>3</sup> /日
総事業費	2億3,800万円



完成した「浄法寺浄化センター」



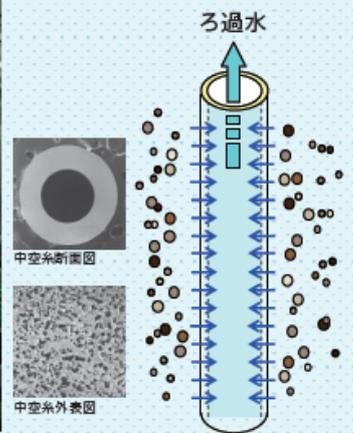
通水式のテープカット

## 膜分離装置の概要 膜分離装置

Membrane separation device



中空糸膜モジュール



## MBRの特徴

- 固液分離を膜で行うため、沈殿槽が不要。
- 活性汚泥濃度(MLSS)を高くでき、活性汚泥槽を小型にできる。
- 透視度が高く、大腸菌類の無い清澄な処理水が得られる。
- 汚泥性状によらず固液分離ができ、維持管理が容易。
- 広範囲な用途に再利用可能である。

# 網取ダムで「春の一斉清掃」を実施しました！！

～ 網取ダム周辺の環境を守る地域活動 ～

盛岡広域振興局土木部 網取ダム管理事務所

「網取ダムの環境と清流を守る会」は、平成 22 年 5 月 29 日（土）に網取ダム「春の一斉清掃」を実施しました。

当日は、「網取ダムの環境と清流を守る会」の会員や、建設会社などのボランティア約 150 人が集まり 7 班に分かれ、網取ダム湖の周辺道路約 8.2 kmのごみ拾いなどの清掃活動を行いました。

約 1 時間ほどの清掃活動でしたが、15 袋ものゴミが集まり、参加者は、ゴミの多さに驚くとともに、きれいになった道路に満足している様子でした。

「網取ダムの環境と清流を守る会」では、9 月にも同様の一斉清掃を計画しています。網取ダム周辺の自然環境を守るため、ご協力いただける方は、清掃活動への参加をよろしくお願いいたします。



開会式の中村会長あいさつ



大勢の皆さんが集まりました



ゴミを拾う参加者



収集したゴミ

## 「網取ダムの環境と清流を守る会」とは??

網取ダムの自然に恵まれた環境を保護することを目的として、昭和 57 年 10 月に中津川流域の町内会、自治会、子供会、企業、各種団体、行政機関にて設立された団体。

同年から清掃活動を実施し、現在は年 2 回の清掃活動、網取ダム管理事務所前への植栽活動、中津川へのサケの稚魚放流などを実施している。

# 「住まいのリフォームフェア」を開催しました!

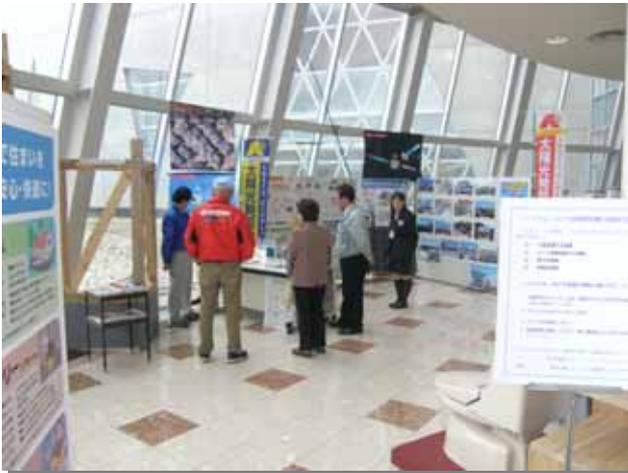
～エコで安全安心な住まいづくり～

県北広域振興局土木部

県北広域振興局では、平成22年5月29・30日に、久慈市文化会館（アンバーホール）で「住まいのリフォームフェア」を開催しました。

このフェアは、県北広域振興局土木部と保健福祉環境部が中心となり、地域住民の皆さんへ計画的なリフォームを提案するために開催したものです。

屋内会場では耐震、省エネ、バリアフリーのパネルなどを展示しました。



屋外会場の様子



5月30日には、人気テレビ番組の「大改造!!劇的ビフォーアフター」などでも活躍されている、仙台市在住の建築士 本間貴史さんの基調講演も開催し、たくさんの皆さんに参加していただきました。

基調講演では、リフォームは 省エネ バリアフリー 耐震改修の3つを上手に組み合わせながら計画的に行うことが重要である、と話されていました。

また、番組の裏話も飛び出すなど、大変興味深いものでした。

基調講演の様子



建築士 本間貴史さん

昭和41年生まれ  
 国立宮城高専建築学科卒業  
 一級建築士  
 (株)本間総合計画代表取締役

# 県内各地で農業集落排水処理場が供用開始！！

## 下水環境課

県内各町村では、生活排水の流入等が原因で農業用水の水質悪化による農作物への被害を解消するため、農村部におけるし尿や生活排水などの汚水を収集・処理する農業集落排水処理場の整備を進めており、平成21年度は、4箇所の処理場の供用を開始しました。

県内では、これまでに114地区の処理場を供用開始しており、約10万3千人の方々に農業集落排水の汚水処理が普及しています。



市町村名	八幡平市（旧西根町）
処理場名	田頭・平笠地区浄化センター
計画処理人口・戸数	2,130人・510戸
供用開始日	平成22年4月1日



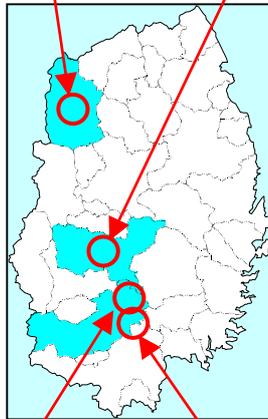
市町村名	花巻市（旧石鳥谷町）
処理場名	八重畑地区浄化センター
計画処理人口・戸数	810人・193戸
供用開始日	平成22年3月10日

### 【田頭・平笠地区】

八幡平市（旧西根町）の南東部に位置している本地区は、岩手山を臨む農村地域であり、大半は、ほ場整備事業により整備されています。

### 【八重畑地区】

花巻市（旧石鳥谷町）の北上川左岸に位置する本地区は、ほ場整備事業（八重畑地区）により整備された地域です。全国的に見ても大規模な大型浄化槽を導入しています。



### 【人首町地区】

奥州市（旧江刺市）の米里地区、県道水沢米里線沿いに位置しており、小規模な地区であることから、処理施設に大型浄化槽を導入しています。

### 【伊手町地区】

奥州市（旧江刺市）の伊手地区、県道口内伊手線沿いに位置しています。人首町地区と同様に、処理施設に大型浄化槽を導入しています。



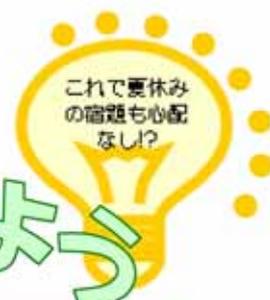
市町村名	奥州市（旧江刺市）
処理場名	人首町地区処理施設
計画処理人口・戸数	200人・61戸
供用開始日	平成22年5月1日



市町村名	奥州市（旧江刺市）
処理場名	伊手町地区処理施設
計画処理人口・戸数	180人・52戸
供用開始日	平成22年5月1日



# 夏休みは築川で 川の生きものを調べよう



## 「築川ダム 川の生きもの調査&付替え道路見学会」

築川ダム建設事務所では、今年もダム役割や川の生きもの調査、付替え道路の見学などを行う体験型『築川ダム 川の生きもの調査&付替え道路見学会』を開催します。

開催日 **7月27日(火)、30日(金)** (雨天決行)

8:40 築川ダム建設事務所集合、12:20 解散

※両日とも同じ内容ですので、ご都合の良い日をお選びください。

※雨天・増水時は、「川の生きもの調査」を中止し、「トンネルを歩こうクイズラリー」に変更します。

場 所 築川ダム建設事務所及び築川周辺

参加費 無料

対 象 小学生（保護者同伴可）

定 員 生徒・保護者合わせて **26名** ※定員になり次第締め切らせていただきます。

持ち物 動きやすい服装（濡れると思われるので、着替えをご用意ください。）

・水筒、ぼうし、タオル、雨具、ビニール袋、サンダル

申込方法 FAX またはEメールに次の事項を記入のうえ、ご応募ください。

参加希望者全員の氏名、生年月日、年齢、住所、電話番号、小学生は学校名・学年氏名にはふりがなの記入をお願いします。

応募先 築川ダム建設事務所 広報担当 TEL/019-652-8821 FAX/019-652-8822  
E-mail/BA0011@pref.iwate.jp

### H21のイベントのようす



### 築川ダム建設事務所の位置地図



第18回



# 森と湖に親しむ 子どもまつり



県南広域振興局土木部 花巻土木センター

平成22年7月29日(木) 9:00~13:30

- ・無料送迎バスは花巻駅西口および石鳥谷総合支所から発着します。
- ・小雨決行 (但し、大雨のときは、一部イベントを中止する場合があります。)



**申し込み・問合せ先** 事前に予約が必要です。下記までお申し込み下さい。

花巻土木センター 治水環境課 TEL:0198-22-4971(内線266・270)

大迫総合支所 地域振興課建設係 TEL:0198-48-2111(内線156・157)

受付開始7月7日(水)・申し込み締め切り7月23日(金)

対象及び参加人数・小学生以下の親子先着 140名

主催 「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会花巻地区分科会

## 明日を担う若手職員を紹介します！

No.2 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター 技師 田村拓己さん

美しい県土づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第2回は、沿岸広域振興局宮古土木センターの田村技師です。

### Q1 担当している仕事を教えてください

平成19年度入庁

宮古地方振興局土木部(現 宮古土木センター)道路環境チームにて2年間道路維持を担当

【現在】宮古土木センター4年目

3年目からは河川砂防チームで主に河川、砂防施設の維持管理を担当しています。最近、最も印象深い現場は薬師川(旧川井村)神楽砂防えん堤からの土砂流出防止対策工事です。



### Q2 仕事の面白いところは何ですか？

地震や大雨などの緊急時に誰よりも早く現場に行き、管理施設に影響が無いか調査したり、異常があれば交通規制等を行ない、県民に対する危険や負荷を軽減し、気づいたら夜が明けていた、という瞬間に非常にやりがいを感じます。

### Q3 仕事の難しいところは何ですか？

施設を新規でつくる場合には、今後何十年か先に修繕する時のことを考えて施工するというのは非常に難しい事だと感じています。

### Q4 どんな職場ですか？

20代、30代の若手職員が半分以上を占めているので、いつも話題に事欠かない職場です。仕事はもちろんですが、昨年度に引き続きヤングパワー全快で、仕事はもちろんのこと、県土整備部長杯サッカー大会2連覇も目指してガンバります！！

### Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

型にとらわれず、いつでも前向きに規格外で頑張りたいと思います！！



職場の様子。左が私、右は公私ともどもいつも厳しく、ごくまれに優しく指導して下さる、港湾海岸チームの菊地技師です。